

## 単施設研究用

# 胆嚢癌の所属リンパ節における CD1a 陽性樹状細胞浸潤の意義の解明

## 1. 研究の対象

2000 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日の間に佐賀大学医学部附属病院で胆嚢がんの外科切除を行った患者さんが対象となります。

## 2. 研究目的・方法・期間

進行胆嚢がんは極めて治療後の経過が悪く、この進行胆嚢がんに対する有効な治療法の開発が急務となっています。

樹状細胞は「抗原呈示」という免疫応答において非常に重要な役割を担う細胞です。この樹状細胞をがんの治療に応用しようと、これまでに樹状細胞を応用したワクチン療法が多く試みられてきましたが、樹状細胞のがん組織中の役割については、未だ不明な点が多く、未だがん治療に対する有効性は確立されていないのが現状です。

CD1a は未熟樹状細胞のマーカーとして知られており、この CD1a 陽性樹状細胞が多数浸潤している患者さんは、長期生存が期待できるという研究結果が、口腔がんなどを対象としたごく少数の研究論文で報告されています。

私たちはこれまでの研究で、胆嚢がんにおいてもこの CD1a 陽性樹状細胞が多数浸潤している患者さんは長期生存が期待できるという研究成果を報告しました。樹状細胞はリンパ節で成熟・機能すると考えられています。リンパ節で同様の研究を行うことにより、これまで不明であった樹状細胞のがん組織中の役割について、新しい知見が得られるのではないかと考えています。

この研究の目的は、胆嚢がん組織とその所属リンパ節における CD1a 樹状細胞の浸潤状況を病理学的に検討し、生存期間やステージ（進行度）といった臨床病理学的因子との関連性を明らかにすることです。

本研究の研究期間は研究実施許可日より 2025 年 3 月 31 日までの間としています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料・情報は、病理部で保管している胆嚢がん切除標本検体、病理学的所見、CD1a・S100 の免疫染色の結果、生存情報、ステージ、患者 ID（情報管理に使用）、および電子カルテに保存されている診療情報：年齢、性別、治療歴（治療内容、治療効果）、生存期間です。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1

佐賀大学医学部附属病院 病理部・病理診断科

担当者：病理部・病理診断科 准教授 甲斐 敬太（研究代表者）

TEL : 0952-34-3264, Fax: 0952-34-2055

E-mail : [kaikeit@cc.saga-u.ac.jp](mailto:kaikeit@cc.saga-u.ac.jp)

#### 【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは当院の研究実施許可日より 2025 年 3 月 31 日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載しているものです。

臨床研究センターHP:<http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHP では、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。